

恵那市地域公共交通計画の改正について

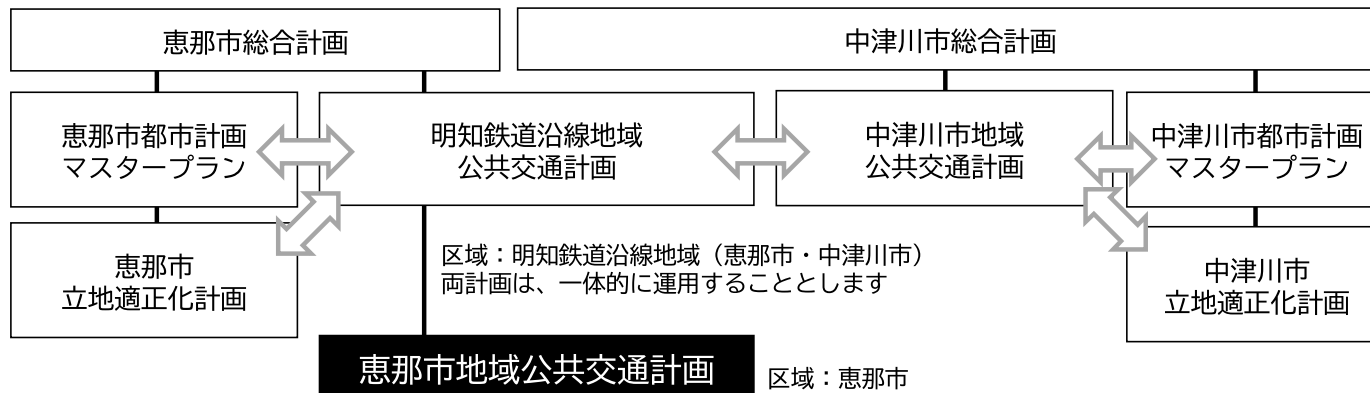
令和8年度で計画最終年を迎える、恵那市公共交通計画の次期計画に向けた改正を実施

1. 計画策定期間

- 計画期間：令和9年4月～15年度（7カ年）
- 計画策定期間：令和7年度～令和8年度

内容	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	・・・
恵那市総合計画	既存計画	基本構想 計画期間：令和8年～令和27年度（20年間）								
		基本計画4年間				基本計画4年間				
公共交通計画	既存計画	計画期間：令和9年度～令和15年度（7カ年）								
				中間見直し						

2. 本計画の位置づけ



3. 本計画の位置づけ

計画の区域は「恵那市」



※別途明知鉄道沿線地域公共交通活性協議会において、明知鉄道沿線地域公共交通計画を同時進行で作成

4. 計画策定スケジュール

▼ 本日

内容	11月	12月	R8.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R9.1月	2月	3月	4月	
交通計画	■計画期間：平成31年～令和8年度（8カ年）																		■新計画
	■評価指標・事業実施状況（現状診断） ■事例収集			■作成方針（案）				■アンケート集計			■計画素案		■計画（案）		■計画策定				
	■地域交通が目指す姿の設定																		
	■データ整理																		
交通会議																			
	■2/3 交通会議（現状確認・課題・方向性の整理）			■交通交通① 内容検討（作成方針（案））			■交通会議②（計画素案）			■交通会議③（計画案）		■交通会議④（計画策定）							
地域																			
	■地域検討会の開催①（現状把握・意見交換）			■アンケート調査			■地域検討会の開催②（見直しの方針）			■地域検討会の開催③（計画案説明）				■パブリックコメント					
庁内																			
	■（仮称）移動手段連絡会議①			■（仮称）移動手段連絡会議②			■（仮称）移動手段連絡会議③												

5. 当地域の公共交通の現状の課題や問題点

○既存計画における現状・・・P5

○市民の皆様からいただいたご意見

項目	内容	①	②	③
バス	【時刻】 ・ 日中や帰宅時にバスの本数が少ない（無い） ・ 観光地に向かう希望の時間にダイヤが無い	○	○	○
	【路線】 ・ まちなか巡回バスの延伸 ・ 坂の上にある団地にバスを運行して欲しい	○	○	○
	【バス停】 バス停の新設及び移設	○	○	○
デマンド交通	【予約】 デマンドの予約が面倒		○	○
	【時刻】 ・ 利用した時間に合わない ・ ミーティングポイント間が移動できないのが不便	○		○
	【運行】 地域を超えた運行を希望	○		
鉄道	【時刻】 本数が少ない、遅い時間帯に便が欲しい		○	
タクシー	【配車】 ・ 深夜帯にタクシーがない ・ 依頼しても希望の時間に利用できない ・ 観光地にタクシーがない（明智、岩村）			○

①コンシェルジュに寄せられたご意見、②満足度調査時に寄せられたご意見、③市に寄せられたご意見

○事務局が捉える主な課題や問題点、今後整理が必要な事項

項目	内容
バス	<ul style="list-style-type: none"> ・部分的な交通空白地のカバーができていない ・地域住民を意識したバスダイヤであり来訪者（観光客）に対して十分なダイヤや運行本数、運行方法（デマンド）となっている ・利用実態に応じたバス路線の再編に向けた整理が必要
明知鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者減少（コロナ前比） ・駅のバリアフリー化に向けた具体的な検討ができていない
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通計画に東濃東部交通圏タクシー準特定地域計画との明確な位置づけがない
シェアサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を推進するにあたり、公共交通計画に明確な位置づけができていない ※まちなか巡回バスの補完として実施しているが、観光利用の推進も実施している
多様な移動手段	<ul style="list-style-type: none"> ・主要駅におけるシームレスな移動手段の提供や整備ができていない
広域	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア岐阜県駅から恵那市への移動手段について具体的な検討ができていない
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・バス鉄道以外の地域の移動手段について、個々で情報発信を行っており、十分な情報統括ができておらず、分かりやすい情報発信ができていない（福祉、ボランティア輸送、病院バス など）
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足（確保）
MaaS	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル定期券やデマンド予約など、一部DX化を図っているが検索予約決済など一括で行えるサービス提供ができていない。

6. 地域交通が目指す姿

○既存計画の基本的な方針（あるべき姿）

地域の力・資源を活用し、
地域に適した公共交通を、
地域・市・交通事業者が協力して、
創り・守り・育てる



現状の課題や問題点や地域交通が目指す姿について、資料3-2のアンケートにご回答ください。

目標達成に向けた取組み状況

◆ 目標達成のための事業内容 ◆

●・・・具体的取組有り

目標	施策	事業	R7達成状況	R7取組状況
Ⅰ 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進	1.公共交通を活用する意識づくり	1.地域イベントと連携した公共交通の活用	○	JRさわやかウォーキング(6月、R8.3月予定)、まちなか市(5月10月)、みのりの祭り(9月)、WRC(11月)、ウイメンズラリー(11月)等と連携
		2.住民活動や高校生に使いやすい人が集う結節点	○	R5.7より商業施設2Fに「恵那未来キャンパス」開設。20時まで利用可能
	2.運転手確保に向けた全市的な取り組み	1.交通事業者との連携による募集活動	○	中津川・恵那おしごとフェア(8月)、バス運転手合同説明会(12月)への参加
		2.資格取得の奨励策の調査・検討	△	バス事業者による大型二種免許取得費用補助制度の実施
		3.有償運送等運転手の養成講座の開設	○	講習の受講
Ⅱ 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	1.地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成	1.まちなか移動手段の確保	○	まちなか巡回バスの運行、シェアサイクルのステーション拡大(8月藤太郎、R8.1月岩村駅、茅の宿とみだ)
		2.タクシー昼間の利活用	×	未実施
	2.バスによる通学利用促進	1.通学路線のルートやダイヤ、運賃の検証・改善	○	時刻調整
		2.スクールバスの調査・活用	△	未実施
		3.運賃のキャッシュレス化	○	1日乗車券のキャッシュレス化をR5.3に開始。R7.3月自主運行バスのデジタル回数券及び 定期券、PayPayの導入
	3.地域によるバス運営の展開	1.自主運行バス運営方針の遵守	○	路線の維持確保
		2.地域検討会の開催と地域路線等の見直し	○	明智及び上矢作、串原、飯地、長島、大井地区における路線の検討及び路線再編
		3.笠周3町内の交通の見直し(有償運送・無償運送の拡充)	△	未実施
		4.無償運送の発展支援	○	三郷愛の会と現状確認
	Ⅲ 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	1.当地域に適したMaaSの実現	1.高校生の帰宅支援	×
2.デマンド運行の配車オペレータの統合			○	恵那市交通コンシェルジュによるデマンド交通の受付業務を集約化
3.運賃のキャッシュレス化(再掲)			○	事業Ⅱ-2-3
4.人とアプリによる「交通コンシェルジュ」			○	恵那市交通コンシェルジュの設置及びポータルサイトを運用
5.日帰り旅コースの設置・運用			○	市交通コンシェルジュ内で公共交通を利用した「小旅」10コースを掲載。追加4コース作成中
6.定額制乗り放題運賃・年間パスポート			○	市内バス1日乗車券をR5.3発売。えーなワンコインパスポートの販売継続
7.モードを跨いだ運賃設定			○	市自主運行バスと東濃鉄道営業路線の運賃の統一をR5.3に開始
8.移動データの取得			○	AI画像認識技術で映像を数値に変換した移動データの可視化を導入
2.新たな技術を活用した付加価値の向上		1.自動運転の導入推進	○	東濃地域自動運転推進コンソーシアムの広域連携による自動運転EVバス実証実験運行(地区:岩村城下町 期間:10月~11月 利用者:710名)
		2.EV車両の導入推進	○	同上自動運転EVバス体験試乗会の実施、イベント時のc+podの試乗会